

岩手県職労

月2回刊=1609号
2022年9月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

2022 県人事委員会勧告闘争スタート 全年代で実感できる賃金・手当改善を！ 人事委員長あて『大型ハガキ要請署名』に取り組みよう

岩手県地方公務員共闘会議(議長・佐藤工若教組委員長)では8月23日の県人事委員会への要請書提出を皮切りに県人事委員会勧告闘争を本格化させる。県人勸が3年ぶりに月例給・一時金ともに引上げとなったことを踏まえ、闘争を組み立てる。ヤマ場は9月下旬と見込まれる。県人勸闘争の主要課題を共有し、大型ハガキ署名に結集しよう

①月例給

国人勸では、月例給の官民較差を埋めるため、俸給表の改定を行うとしたものの、若年層に配分、中高年齢は据え置きとなった。物価上昇等の影響を均等に受けている中で全ての号俸での引上げは、引き上げ分を勤勉手当のみで行うとしており、能力実績に

②一時金

国人勸では、引き上げ分の引上げにならなかったことは生計費確保の観点からは不十分であり、若年層以外の職員の勤務意欲確保では大きな課題を残す。高齢層に係る給与改善の具体的な対策を求める。

③給与制度の見直し

国人勸では、給与制度の見直しに着手するとされており、検討項目には、65歳定年を見据えた60歳前・60

④諸手当改善

通勤手当では、継続課題である高速道路利用の手当改善、交通機関と通用品を併用した場合(パーク&ライド)の駐車場料金の手当新設を求める。ガソリンや通勤手当の支給を求める必要がある。価格高騰に関し、ガソリン価格の動向を踏まえた通勤手当改善も重要課題。住居手当では、最高支給上限額の改善を求める。

⑤長時間労働是正策

超過勤務の上限規制が設けられているが、例外規定を設けていること、実効力ある対策が各職場で確保できるのか課題が大きい。長時間労働は正のため客観的勤務時間把握を基にした超過勤務手当の支給はもとより、要員確保などの実効力ある対策を求める。

⑥今後の取り組み

10月上旬の県人勸を見据え、岩手県地方公務員共闘会議に結集し、9月下旬の事務局長交渉を闘争ヤマ場として設定。人事委員長あて要請署名に取り組み。大型ハガキ署名の取り組みへの結集をお願いする。

2022 青年婦人部四役紹介

8月6日に開催された第57回青年婦人部定期大会において新たな役員体制が決定した。
青年婦人部長は、鎌形幸平さん再任、副部長に石井望夢さん再任、田代こよみさんが新任、書記長に須藤開さんが新任となった。



鎌形 幸平 (北上支部・農研センター分会)



田代 こよみ (釜石支部・水産部分会)



石井 望夢 (一関支部・農村整備センター分会)



岸 航平 (県庁支部・水産振興課分会)



須藤 開 (専従) (本部・書記局分会)



岡本 拓哉 (県庁支部・税務課分会)

3年ぶり対面開催!! 自治労第96回定期大会

日頃の労働運動で組織強化拡大を



▲団結ガンパローで大会を締めくくった

自治労第96回定期大会が8月30日・31日、千葉県幕張メッセを会場にWEB併用で開催。全国の代議員から参院選闘争総括、確定闘争勝利等に向けた補強発言を受け賛成多数で採択。川本委員長の団結ガンパローで意思統一を図った。
開催に当たり、川本中央執行委員長は「7月の参議院選挙闘争で、自治労組織内「鬼木誠」勝利に向け奮闘いただき感謝申し上げたい。一方、目標30万票に対し17万票にとどまるなど、自治労組織の力量も試された。月例給は若年層の充実など不満が残ることから、確定闘争での取り組みが不可欠。懸命に働く組合員の悩みや課題に耳を傾け、要求・交渉を行い、賃金労働条件や職場環境の改

善、人員確保などにつなげていくことが、労働組合の基本的役割。日常的な組合活動を展開し、自治労全体の組織力量の底上げにつなげていこう」とあいさつ。
自治労県本部・及川隆浩書記長(県職労)は、①組織基盤強化における岩手の


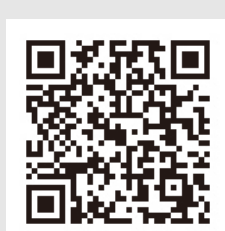
組合加入の取り組みと継続した財政支援、②平和な社会の実現、憲法改悪反対の組織的な取り組み強化等を訴えた。代議員の補強発言により方針は賛成多数で採択。最後に川本委員長の団結ガンパローで意思統一した。
善、人員確保などにつなげていくことが、労働組合の基本的役割。日常的な組合活動を展開し、自治労全体の組織力量の底上げにつなげていこう」とあいさつ。
自治労県本部・及川隆浩書記長(県職労)は、①組織基盤強化における岩手の

先日、共済組合の補助を受けて、人間ドックを受診した。共済組合からの補助決定通知を受けた数日後、医療機関に予約を入れようとしたところ、既に予約となっていた日が多く、医療機関側から提示された日で受診するしかなかった▼業務都合を考慮せずに受診日を設定したこともあり、受診日の直前・直後に対応しなければならぬ業務も多く、本日に受診しに行けるのか、心配が尽きない中での受診となった。服務上の取扱い

は、所属長承認による職務専念義務免除であるが、気分は「義務免除」とは程遠かった▼人間ドックにおける医師の診察で指摘された事項は「太っているから運動して痩せるように」など、これまでの健康診断と異なっていた。太っているにもいくつかの類型があり、それによって望ましい運動のしかたも変わってくるようである▼とはいえ、日々過密な労働に追われる中で、運動する時間をいつ作れるというのか。これは、医師の診察で解決する問題ではなく、今の過密な労働が当然のことになっていないか、組合を通じて検証し、改善を求めていく必要がある。

お悩み相談 受け付けています

各地区の合庁内にある「組合書記局」は相談窓口として置かれています。また、書記局での相談がちょっと…。という方は右下のQRコードからメールを送って頂ければ対応いたします！
コロナ禍で職場内での交流の機会も減っているため、職場で相談しづらいこともあるかもしれません。そんな時は、溜め込む前に労働組合にご相談ください。



第五世代

先日、共済組合の補助を受けて、人間ドックを受診した。共済組合からの補助決定通知を受けた数日後、医療機関に予約を入れようとしたところ、既に予約となっていた日が多く、医療機関側から提示された日で受診するしかなかった▼業務都合を考慮せずに受診日を設定したこともあり、受診日の直前・直後に対応しなければならぬ業務も多く、本日に受診しに行けるのか、心配が尽きない中での受診となった。服務上の取扱いは、所属長承認による職務専念義務免除であるが、気分は「義務免除」とは程遠かった▼人間ドックにおける医師の診察で指摘された事項は「太っているから運動して痩せるように」など、これまでの健康診断と異なっていた。太っているにもいくつかの類型があり、それによって望ましい運動のしかたも変わってくるようである▼とはいえ、日々過密な労働に追われる中で、運動する時間をいつ作れるというのか。これは、医師の診察で解決する問題ではなく、今の過密な労働が当然のことになっていないか、組合を通じて検証し、改善を求めていく必要がある。

現業評議会 第63回定期総会 人員補充へ最大限の結集を



▲要求実現に向けて意思統一をはかった現業評議会定期総会

8月27日、現業評議会は2022年度闘争及び現業統一闘争を全力で取り組み、組合員の生活と権利を守るためにかいへの前進に向けた運動方針を確立すべく、第63回定期総会を盛岡市で計24人の参加で開催した。

工藤議長は「みんなが参加し、みんなが発言する。理想論かもしれないですが、皆さんの声、意見が無ければ執行部も強く交渉に臨めないで、総会の場でも良いので職場内で困っている事、執行部に対して叱咤激励を発言いただき組合活動を活発にしていきたい。私たちはみんながやるという考えで取り組みを進めていきたいのでよろしくお願いします」とあいさつ。



▲あいさつする工藤現業議長

意発言もあった。最後は工藤議長から「今年度は現業職場全体で6人退職予定していることから、退職補充をなんととしても勝ち取るぞ」と決意し、団結ガンバローで意思統一をはかった。

現業評は、秋の現業闘争での要求実現に向けて闘争を強化していく。

盛岡支部細野代議員から、「畜産研究所では今年度末3人の退職予定者がいる。これまで畜産研究所では退職に伴い補充を勝ち取ってきた。しかし、3人退職となると補充が厳しいのではと危機感をいだいている。何としても欠員を出さないように人員確保に向けて私たちは組合と一丸となり頑張りていくのでよろしくお願ひしたい」と人員確保に向けた取り組みの決

普及職員協議会 事務職の確保が必須



▲二戸農業改良普及センターでの意見交換会のようす

二戸支部・農業改良普及センター分会は8月29日、センターの組織体制等の強化に向けた意見交換会を開催し、昨年度の取り組み状況をもとに職域課題の集約を行った。

【主な意見】

○二戸普及センターには庶務の専門担当がない。二戸普及センターだけではないが課長が庶務担当を担っているところが何ヶ所かある。特に4月・5月の業務量はすごく多いと思った。この時期は特に忙しく、本来業務と庶務業務どちらも忙しいと、本当は普及業務

化に向けた意見交換会を開催し、昨年度の取り組み状況をもとに職域課題の集約を行った。

○産休・育休の代替職員が専門職だと見つけにくい状況で臨時職員のな方を採用しているが、なかなか専門的な仕事をお願いできないのが実態である。また、課長が庶務を行っている現状から事務職OBも配置するなど課長が担っている庶務を任せられればと思った。

○普及員の人員配置について、上席普及員と技師が多く、中間層がない状況で若い職員が相談しにくいのに力を入れたらと思う。まず庶務業務からやらなければ他の業務に影響が生じることから庶務業務を優先せざるをえず、本来の業務が進まないということもあった。

に力を入れたらと思う。まず庶務業務からやらなければ他の業務に影響が生じることから庶務業務を優先せざるをえず、本来の業務が進まないということもあった。

○産休・育休の代替職員が専門職だと見つけにくい状況で臨時職員のな方を採用しているが、なかなか専門的な仕事をお願いできないのが実態である。また、課長が庶務を行っている現状から事務職OBも配置するなど課長が担っている庶務を任せられればと思った。

○普及員の人員配置について、上席普及員と技師が多く、中間層がない状況で若い職員が相談しにくいのに

現場の実態を踏まえた 人員配置を求めていく

8・31花巻支部で定期大会を開催

花巻支部は8月31日、定期大会を開催した。前川支部長から、「過重な労働を強いられている状況があり、何とかしないと率が悪くなり、頑張る人が

活動すればいいという空気を感じる。みんなで行動する取組に展開していき」とあいさつした。

職場に適正な人員を配置させるための人員要求、支部独自要求行動などの運動



で人材育成の面からも年齢バランスを考えた人員配置をお願いしたい。

北上・胆江支部合同

交流を通じた仲間づくりを 青年婦人部がバレーボール交流会を開催

北上支部・胆江支部の青年婦人部では、9月31日(水)、新採用職員の歓迎と、青婦部員の交流を兼ね、「新採用職員歓迎！ソフトバレーボール交流会」を開催した。

当日は32人(うち新採用職員6人)の組合員が参加した。

方針を提起した。職場で仲間が抱えている課題解決に向けて支部独自アンケートの取組について方針を確認した。代議員から、定年延長後の職場体制についての不安の声が出された。現場の実態を踏まえた定数配置と定年延長制度となるよう取組を強化していく。



▲笑顔でスポーツ交流する参加者たち



▲花巻支部定期大会のようす

住みいる共済
火災共済・自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

住みいる共済は、
火災共済と自然災害共済を
あわせた呼び名です。

Point 1 火災共済+
自然災害共済で
地震や風水害のときも安心

火災共済 + 自然災害共済 = 安心

Point 2 70%以上の
焼破損割合で
全焼損扱い

Point 3 自然災害共済で
「盗難」も保障

※警察への被害届の提出が必要です。

Point 4 「落雷」
による被害も保障

Point 5 「再取得価額」
で保障します

※風水害・地震などのときは保障額が異なります。

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください
こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済」は営利を目的としない保障の生命として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地域または勤務地(先)の共済生活協同組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

※契約にあたってはパンフレットをご覧ください。